

歴代会長

杉山 福太郎 氏
日下部 光男 氏

岸 明 氏
青山 武夫 氏

植松 康次 氏（現）

町会の沿革

城山町会は戦前より存在していて城山本通りを堺に北町会・南町会としていた。戦後町会活動が禁止されたが「城山電灯協力会」として街灯の維持管理、防火、防犯、環境衛生、治安維持と住民生活向上のために、町の方々は連携をとっていた。昭和27年、町会活動の復活が認められ、昭和35年に規約が整備された。昭和41年新住居表示法により「中野一丁目町会」と名称変更した。

町の変貌

戦後、住民が増えるにつれ活気を呈し、3つの商店街で商店会を結成し賑わっていたが昨今はコンビニ等の影響で商店街は以前のような賑やかさは無い。住宅地の変化も著しくワンルームマンションが多く建ち若者の一人世帯や外国人が増加しているが町会加入が少なく、嘗ての隣近所の親しみが薄れてきている。また、区内でも防災上危険な木造住宅密集地帯の一つとされている。本町会の人口は年々増加しているが町会加入世帯は2千世帯弱にとどまっている。

特色ある町会活動

城山公園及びさくら館（城山ふれあいの家）を利用した様々な行事を実施している。特に城山公園は、町内では緑が多い場所なので老若男女の憩いの場所となっている。7月には谷戸運動公園にて近隣4町会合同の「谷戸運動公園盆踊り大会」、9月には御輿の連合渡御や城山公園にて「城山踊り」を催し年々子供・高齢者や外国人の参加者が増えてきている。また、月に3回実施している防犯パトロール・夜警の巡回、春秋の交通安全運動や種々の防災活動は、犯罪発生要因の除去にとどまらず、防火・町の美化・また高齢者宅の異変発見に役立てている。次代を背負う子供たちの健全な育成のために、新一年生をお祝いする会、夏休みのラジオ体操、親子で楽しむデイキャンプ等を実施し、さくら館まつり・餅つき大会への参加協力をしている。さらに新年賀詞交換会や町会バス旅行で交流を深め、敬老の日にはご高齢の方に長寿のお祝品を差し上げている。

これからの町会活動

地域住民の絆を強め、「災害に強い町」を目指し「安全で安心して住める町」「ふるさとと呼べる町」「住んで良かったと感じる町」になるよう、また、次世代に誇りを持って残していける町にしたいと切に願い努力していきたい。



2016.12.11城山公園にて防災訓練実施